

(別紙4(2))

事業所名 グループホームきづきの家

目標達成計画

作成日: 平成 27年 3月 20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	54	自宅からホームに移り住み新しい暮らしを始めるという視点に立ち、これからの生活を豊かにするために、入居者、職員で話し合い、入居者個々に合わせた個性的な自室のしつらえに向けて取り組む。	・そこに住む入居者が落ち着いてプライベートな時間を過ごせる空間にする。 ・趣味や、趣向を取り入れ、入居者個々の好みに合わせた部屋にする。	・担当職員主導により、各入居者の居室状況の確認。そして希望の聞き取りをする。 ・それを踏まえてご家族と協力し、自宅にあるものを持参したり、施設でできる事は要して、居室環境の改善を行う。	6ヶ月
2	2	町内行事などのイベントや、避難訓練など事業所での行事では付き合いがあるが、行事・イベント事以外の日常での付き合いは薄い。	日々接する機会を持つことで、お互いの理解を深める事ができ、存在を感じる事で地域の一員である事を実感できる。	・町内を散歩。 ・町内会行事への参加。 ・手芸や習字などの公民館活動への参加。 ・地域子供会とのふれあいの機会を作る。	12ヶ月
3	48	洗濯や調理などの家事は習慣になりつつあるが、体操や、手作業などのレクリエーションは毎日行えていない。また、家人からも希望が上がっている。	体操や手作業などの余暇活動が充実することで、楽しく生活が送れる。	・体操や体を動かすレクリエーションの時間を作り、継続して実施する。 ・工作や手芸などの手作業の時間を作る。また、作る事だけが目的ではなく、共に創る仲間との会話など、作業以外の面でも楽しみにつなげていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。